●京都府立口丹波勤労者福祉会館

●京都府立中丹勤労者福祉会館

前回検証結果(平成26年度)

要改善※中丹

- ・営業活動の積極的な展開、魅力ある自主事業の実施など、利用促進の取組強化を指定管理者業務に位置づけることにより、利用者数の増加を図ること。
- ・施設の利用実態や代替施設の存在及び府立大学との共同研究結果 を踏まえ、設置目的や必需性について改めて整理を行うとともに、 引き続き、今後のあり方について地元市町と連携した検討を行う こと。

継続※口丹波

- ・指定管理者の運営努力により、利用者数の増加等が見られるが、 施設の利用実態や代替施設の存在及び府立大学との共同研究結果 を踏まえ、設置目的や必需性について改めて整理を行うとともに、 引き続き、今後のあり方について地元市町と連携した検討を行う こと。
- ・引き続き、利用者数の拡大に向けた営業活動の展開や自主事業の 実施等、利用促進の取組を行うこと。

対応・改善策 実施状況

- ・平成 26 年度の指定管理者の募集時に、愛称募集や自主事業による 利用者増の取組を明記した。
- ・今後のあり方について、地元市町においては、交通網の整備に伴い、広域利用施設の拠点として更なる交流人口の増加や活性化につながることから、府による管理運営を引き続き要望。

取組の成果

- ◇口丹波勤労者福祉会館は、平成27年度で前年度比約9%利用者数が増加。
- ◇両会館とも数値目標の達成に向けた運営を行った。

• 利用者数

	年度	H26	H27	H28
丹	目標値	128, 500人	165,800人	165, 900人
波	実績値	166, 154人	182, 288人	152, 641人
	達成率	129. 3%	109. 9%	92%
	年度	H26	H27	H28
中	目標値	100, 946人	101, 400人	101, 900人
丹	実績値	96, 497人	93, 541人	91,644人
	達成率	95. 6%	92. 2%	89. 9%

なお残る課題・ 問題点

- ◆前回検証を行った平成 26 年度と比較すると、平成 28 年度では、 口丹波勤労者福祉会館は約9%、中丹勤労者福祉会館は約3%利 用料金収入が減少。
- ◆施設のあり方について、近隣の競合施設の存在等を踏まえ地元市 町や関係団体との検討が引き続き必要。

府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等

- □近隣の競合する公共施設もあることから、施設を維持し続けてい くことの意義や目的の検証が必要である。
- □設置目的からすると現況と齟齬があることは否めず、現在の利用 状況や今後の人口構造の推移からすると、利用者が求める設置目 的に見直すべきではないか。
- □地域住民の交流・文化・体育活動の場としての利用があり、地域 にとって必要な存在となっている一面もある。
- □取組が利用向上につながっていないことから、利用者ニーズの汲 み取り方や施策への反映方法の仕組みを見直すべきである。
- □利用者増のために幅広い地域の年齢層の方が利用しやすい愛称等 を工夫すべき。

京都府の検証結 果及び対応方向

要改善

- <改善のポイント>
- ◎施設の利用実態や近隣の競合施設の存在を踏まえ、設置目的や必需性について改めて再検証し、施設のあり方について地元市町等と検討を行うこと。
- ◎利用者ニーズの把握や反映する仕組みを見直し、利用者数の拡大 に向けた取組を行うこと。

<今後の対応>

- ○広域的な利用実態があることを踏まえつつ、近隣の競合施設との 棲み分けなど地元市町や関係団体から意見聴取の上、施設のあり 方について検討する。
- 〇指定管理者の募集要件として、利用者の掘り起こし、利用ニーズ の把握及び同調査等結果を活かした利用促進の仕組みを提案させ る。